

平成27年新春座談会

文化のまち 渋谷の発展に向けて



桑原 敏武 (くわはら としただけ) 渋谷区長

区長 新年あけましておめでとございます。渋谷区は、国際的な文化観光都市としてさらなる発展を目指しています。他方、少子高齢化のた

日本と海外の文化交流

区長 まず、西本さんから、ご自身どのような仕事をされて、どのように文化と関わりがあるのかを教えてくださいませんか。
西本 私は指揮者、イルミネーションというグループの芸術監督としており、「音楽だけに頼らず舞台全体を創ることをしています。芸術は風土歴史が非常に密接な関わりを持っています。今まで歴史的に、表には出てきていない、それはたくさんあって、本来、文化芸術というのは、そこそこ表にこそ目立つべきで、裏で支えている仕事だと思っています。だから、日本に残っているものを改めて現在掘り起こしをしています。2013年から「ワチャカ」の仕事をしたのですが、ワチャカは図書館に歴史のものがまだ多く埋蔵されているんです。例えば、日本には戦国時代にたくさん書かれましたが、文庫としてはまだ表になっていないものがワチャカ図書館には残っていますので、そういったものを掘り起こす作業もしていきたいです。日本のものが外国に現存していることはまだたくさんあると思います。いろいろな可能性を秘めたプロジェクトが始まります。

無形の文化・心の文化

区長 渋谷区は人口減少社会に直面しています。そのときに、賑わいを失いたくない、その中核になるのは「文化」ではないかと思っています。だから、ファッションでも食文化でも演劇でも、渋谷に文化を活性化して、渋谷に留めたいという思いが強いと思います。
矢幡 私のラウンジは、人々、人、人、物、物を結ぶというところでして、特に文化を通して国際交流をすることを継続してあります。フランス映画祭など海外のものを目玉にたくさん紹介してきましたが、近年は目が世界で注目されているので、日本から発信する機会も思っています。文化以外で注目をしているのは観光で、年々海外からたくさんの方々が来日され、一人でも多くリピーターになるように、また、短時間で家族や友人たちに日本にぜひ来たいと言ってもらえるように、お手伝いをさせていただいています。

無形文化遺産

区長 無形文化遺産に関しては、先ほどお話ししたように、文化財の保護というよりも、心の文化、目に見えないものの中核を文化を探り出すことが大切だと思います。
矢幡 ええ、ソフトパワーです。私もまさに今「無形文化遺産」に関して「くわ」を注いでいます。文化財の保護というよりも、心の文化、目に見えないものの中核を文化を探り出すことが大切だと思います。



左から升田氏、西本氏、桑原区長、矢幡氏(区長室にて)

これからの文化に望まれること

区長 升田さんは、東急文化村の経営者として、いかがですか。
升田 日本の人口は推計で2050年に3千万人近く減って、65歳以上の人が4割以上占めるそうです。今、東急文化村では、4割以上の生きている創造者を取り組んでいます。埼玉で越川幸雄さんが立ち上げた「ゴールドシスター」という劇団がありますが、平均年齢70歳の方々が、渋谷に拠拠して、1か月稽古して、そのあと1か月舞台を演じられるんです。そのお年寄り稽古が始まるという、ガチンコ稽古が生かされるのを、私もすごく楽しみにしています。無形文化遺産もたくさんあり、今年からそれを紹介するイベントを始めようと思っています。それと、インバウンド観光客と文化関連産業の連動が大切なので、ビジットジャパン大使や渋谷の観光大使を務める中で力を入れていきます。

今年目指すこと、アジアの文化をつなぎ渋谷から世界に発信

区長 今年はどんな年になりましたか。
西本 「ルミネター」という国籍・国境を越えた芸術家集団を通じて「アジアを文化でつなぐ」ということを目指しています。今年からこれまで準備してきたものが形になってきます。
矢幡 私を数年前から「くわ」に興味を持って、足を運んでくれます。無形文化遺産もたくさんあり、今年からそれを紹介するイベントを始めようと思っています。それと、インバウンド観光客と文化関連産業の連動が大切なので、ビジットジャパン大使や渋谷の観光大使を務める中で力を入れていきます。

区長 升田さんはいかがですか。

升田 やはりアジアを牽引する仕組みがないものは、日本が作ったほうがいい。特に渋谷区は文化の中心地でもあるし、これから発信するに世界に発信したいと思っています。アロウェイに仕事で行ったときに、ニューヨークのデザイナーたちが渋谷ファッションショーをやりたいと言っていて、パリコレショーよりももっとインフォメーションを、まず渋谷で発信したいと言っていました。先ほどおっしゃっていた「無形文化遺産」も当然ですが、やはり日本に根ざした素晴らしい心のよりどころのようなのも、つくることが必要から、世界に発信する仕組みをつくることが必要だと思います。ぜひ、区長に接談をよろしくお願ひいたします。ただ渋谷区に対して注が出てきたように、お願ひいたします。(案、西本さんは渋谷区にたいどう思われますか)
西本 やはりアジアの文化観光都市の代表的なモデルとして、今年になってきたらいいですね。いろいろ国からもっと人が集まってくると思います。そうすると、今年で新たな「再発見」もあるでしょうから、古いもので新しいものも、もう一度復活させるかもしれません。

区長 ありがらうですか。

区長 海外に対して広報活動が弱いので、「海外メディアやオピニオンリーダーの方々を招聘してPRの協力をしてもらおう」という目標を掲げたいと思っています。それをサポートしていただきましたら幸いです。

出席者プロフィール

イルミネーション芸術監督兼首席指揮者等。(*)ロシアで指揮者等ポストを外国人で初めて歴任、約20数か国から指揮者として招聘される。ワチャカ国際音楽祭史上初めてアジアから再招聘、同音楽祭を主催する財団より名誉最年少授与、2014年11月よりオーチードホール定期演奏会がスタート。タボス会議ヤンググローバルリーダーに選出。

*イルミネーション芸術監督兼首席指揮者等。ロシアで指揮者等ポストを外国人で初めて歴任、約20数か国から指揮者として招聘される。ワチャカ国際音楽祭史上初めてアジアから再招聘、同音楽祭を主催する財団より名誉最年少授与、2014年11月よりオーチードホール定期演奏会がスタート。タボス会議ヤンググローバルリーダーに選出。

※イルミネーション芸術監督兼首席指揮者等。ロシアで指揮者等ポストを外国人で初めて歴任、約20数か国から指揮者として招聘される。ワチャカ国際音楽祭史上初めてアジアから再招聘、同音楽祭を主催する財団より名誉最年少授与、2014年11月よりオーチードホール定期演奏会がスタート。タボス会議ヤンググローバルリーダーに選出。



矢幡 聡子氏 (やはた さとこ)

株式会社コア・エス代表取締役。アート・カルチャー・トラベル・食の分野に開拓した国際ビジネス、文化交流事業などのコンサルティングと企画、プロデューサーを手がけている。国土交通省観光庁Visit Japan大使、環太平洋地域経済力ワンシル(PBEC)理事、国連UNHCR協理理事、ニューヨーク・メトロポリタンオペラ理事。



升田 高寛氏 (ますだ たかひろ)

株式会社東急文化村代表取締役社長。「Bunkamura」運営。※座談会当番。